

仲良く見えても

—笑顔の奥に隠れている
子供たちのSOS—



かつてのいじめは「自分よりも弱い者に対して、継続して一方的にひどいことをする」という、誰が見ても深刻な状況と認識できるような内容でした。

しかし現在のいじめは「仲良しグループの中で、大人の目に付きにくい場所や時間帯に隠れた形で行われる」という特徴があります。子供たちは傷付いたとしても「いじめられていると思われたくない」と気にしていないように見えるため笑顔を作ることもありま

す。「大丈夫」と言う子供たちの気持ち尊重しながらこの状況を解決するには、客観的に見ることが出来る「第三者の目」が必要です。

笑顔でいるのは

目次

- 02 仲良く見えても（いじめ防止）
- 04 ペットは責任を持って飼いましょう
- 06 秋祭り情報
- 08 すまいる
- 09 中国総体2016活躍した岩国勢
- 10 市政 PICK-UP
- 12 健康教室・食推さんの食べてみんさいおいしいけえ
- 13 まちの話題
- 16 暮らしの情報
- 24 おでかけ情報
- 26 みんなの写真館・市長夢日記

表紙の説明



ペットは責任を持って飼いましょう

9月・10月は「動物の飼い方マナーアップ強化期間」です。

動物を飼う際には、マナーを守り、最後まで愛情と責任を持ってペットに接することが大切です。

これを機に、マナーについてもう一度考えてみませんか。（詳細記事は4・5ページ）

いじめの定義

—いじめ対策推進法より—

- ①行為をした者（Ａ）もされた者（Ｂ）も児童生徒である
- ②両者の間に一定の人的関係が存在する
- ③（Ａ）が心理的又は物理的な影響を与える行為をした
- ④（Ｂ）が心身の苦痛を感じている



※かつてのいじめの定義には「自分よりも弱いものに対して一方的に」「継続的に」「深刻な苦痛」という要素が含まれていました

ささいな出来事でも

からかったりちよつかいを出したりするなど、ささいな出来事で

もいじめに当てはまる場合があります。子供たちだけで解決させることも大切ですが、予期せぬ方向に推移し、重大な事態に至ることもあるため、学校が把握したときは、いじめとして認知し解決に向けて対応しています。

SNS いじめ

ここ数年で18歳未満のスマートフォン所有率は急増しており、普段のコミュニケーションや連絡の手段として、LINEなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を使用することが多くなってきました。

現実のコミュニケーションと違い、文字だけではニュアンスが伝わりにくくメッセージ内容の勘違いが起これたり、用事などすぐに返信ができなかったとしても無視していると思われ、そのことで集団的ないじめへとつながってしまうケースも増えています。

ある日突然、SNS上のグループ（複数人で閲覧できるページ）から外されたり、SNS上で中傷をされたりするので、学校から帰っても気が休まりません。

本当の笑顔のために

これからは、いじめかどうかを判断するより、学校・家庭・地域がつながり、いじめと疑われるものを幅広くキャッチすることが重要です。

学校の中だけでは見つけにくい、いじめ。仲が良さそうに見えても、その笑顔の奥にはSOSが隠れているかもしれません。

一定の人間関係の中で生じるいじめは、それぞれに思いがあり、当事者だけでは解決が難しいケースがあります。

あなたの声が必要です

登下校中に、同じ子供がいつも友達の鞆を持っている。みんなが笑顔でいるので一見仲良さそうだが、持たされている子の笑顔はちょっと悲しそうに見える。本当は嫌がっているのでは…

こんな子供を見かけたら、迷わず連絡を

●教育委員会青少年課

☎ 43-0901

小学生・中学生およびその保護者の相談を受け付けています。

●ヤングテレホン

☎ 0120-22-7830

※携帯電話からは ☎ 43-0900

小学生・中学生・高校生およびその保護者の相談を受け付けています。



10月は、いじめ防止・根絶強調月間です

登下校中や外で遊んでいる子供たちを見て、何か違和感を覚えたことはありませんか。
皆さんの声が、子供たちの本当の笑顔につながります。「何かおかしいな」と思ったら、迷わず連絡してください。
問 青少年課 ☎ 43-0901